

『第4回新製剤技術とエンジニアリングを考える会』プログラム

会場：タワーホール船堀(江戸川区総合区民ホール)

2006年7月19日(水)			2006年7月20日(木)		
コーディネーター		名城大学 砂田久一氏 / 千葉大学 山本恵司氏	コーディネーター		岐阜薬科大学 竹内洋文氏 / 愛知学院大学 川島嘉明氏
ご挨拶	10:10~ 10:20	高嶋武志 株式会社パウレック 代表取締役社長			
1	10:20~ 11:10	秋山洋子博士 武田薬品工業株式会社 製薬本部・製剤技術研究所 主席研究員 『Multiple Unit型経口モルヒネ徐放剤の製剤設計』	1	10:20~ 11:10	片岡隆博博士 塩野義製薬株式会社 CMC開発研究所長 兼 品質評価研究部長 『医薬品製造とアウトソーシング:今後の展開と戦略』
2	11:10~ 12:00	小出達夫博士 国立医薬品食品衛生研究所 薬品部 主管研究員 『近赤外イメージングシステムを用いた医薬品設計及び品質評価に関する検討』	2	11:10~ 12:00	Dr. Sesshadri Neervannan, Associate Director Pharmacuetics, R&D Amgen, Inc. 『消化管環境下での薬物の溶解度と溶解挙動が経口投与バイオアベイラビリティに及ぼすインパクト』
	12:00~ 13:10	ランチョンセミナー 長谷川浩司氏 株式会社パウレック 研究所 『仲井賞受賞 パウレックコーターの開発』		12:00~ 13:10	ランチョンセミナー 夏山晋博士 株式会社パウレック 開発部 『スーパークリーン流動層と攪拌造粒機の開発』
3	13:10~ 14:00	並木徳之博士 東京慈恵会医科大学附属第三病院 医療安全管理室 『臨床で待望の製剤登場/ UP TO DATE 』	3	13:10~ 14:00	Prof. István BERTA, Department of Electrical Power Engineering Budapest University of Technology and Economics 『製剤工程における静電気制御と障災害防止』
4	14:00~ 14:50	山原弘博士 田辺製薬株式会社 CMC研究所 製剤研究部 主幹部員 『大型放射光施設SPring8の高分解能X線CT装置による造粒物の三次元観察』	4	14:00~ 14:50	Dr. Mayur P. Lodaya, Associate Research Fellow Research Formulations/Pharmaceutical Sciences Dr. Alex Chueh, Director, Product and Process Development Pfizer, Inc. 『連続式製剤システムの概要 -変革と将来性への駆動力』
	14:50~ 15:00	休憩		14:50~ 15:00	休憩
5	15:00~ 15:50	吉田高之氏 アステラス製薬株式会社 製剤研究所 剤形研究室 『塩析効果による水溶性高分子の相変化を利用した新規マスクング技術の研究』	5	15:00~ 15:50	Dr. Danielle Giron, Group Head Chemical and Analytical R&D, Novartis Pharma 『医薬開発における結晶多形と偽結晶多形—ICHIQ6Aによる影響』
6	15:50~ 16:40	加藤晃良博士 エーザイ株式会社 製剤研究所推進室 主幹研究員 『ICH Q8のコンセプトとその運用—デザインスペース』	6	15:50~ 16:40	Prof. James W. McGinity College of Pharmacy, Pharmaceutics Division The University of Texas at Austin 『湿式または乾式法でフィルムコーティングした固形製剤からの薬物溶出に影響を及ぼす物理化学的要因』